令和５年８月吉日

関　係　各　位

九州大学大学院薬学研究院長
大　戸　茂　弘

令和５年度九州大学大学院薬学研究院公開講座について（ご案内）

拝啓　時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、九州大学大学院薬学研究院では、地域薬剤師及び一般市民・学生を対象として、薬学・科学技術に関する最新の知識や情報を得る機会を提供し、生涯学習、リカレント教育（再教育）の一環として、公開講座を開講しています。

令和５年度公開講座「産学官が取り組む創薬開発　過去から現在そして未来へ」を開講するにあたり公開講座案内を送付しますので、よろしくお取り計らい願います。

敬具

問い合わせ先：
九州大学医系学部等事務部総務課総務第一係
〒812-8582　福岡市東区馬出３－１－１
TEL：092-642-6248　FAX：092-642-6246
E-mail：ijssomu1@jimu.kyushu-u.ac.jp

令和５年度

九州大学大学院薬学研究院
公開講座案内

産学官が取り組む創薬開発　過去から現在そして未来へ

PHARMACEUTICAL SCIENCES, KYUSHU UNIVERSITY

令和５年度　九州大学大学院薬学研究院公開講座実施要項

1　講座の名称

産学官が取り組む創薬開発　過去から現在そして未来へ

2　趣旨・目的

新型コロナを始めとするパンデミックが猛威を振るう昨今、生命科学、創薬研究において産官学の連携による迅速な応用研究、開発研究の推進がこれまで以上に重要になっています。その一方で、一見創薬と関係なく見える生命科学基礎研究が、年月を経て重要な実用研究へと発展するケースも多く、長期的視野も極めて大事です。我が国においても、以前からこのような政府、企業、アカデミアによる連携の試みはなされてきており、現在もBINDS等の大規模な国家プロジェクトが走っています。本公開講座は、このような産官学の連携に長年携わり、多様なバックグラウンドを持つ講師の方々に、これまでのこうした連携の歩み、現状、そこでのご自身のご活動等について講演していただき、未来への展望について共に考えていく機会となることを目的にしています。

3　講座の実施日程及び開講時間

実施日程：令和５年１０月２２日（日）、１０月２９日（日）

開講時間：１３時～１６時４０分（１２時開場）

（初日は１２時５５分～１３時に開講式、最終日は１６時４０分～１６時４５分に閉講式を行います。）

4　講座の概要、講師、日程等　　別表のとおり

5　実施場所　九州大学コラボ・ステーションⅠ　視聴覚ホール（福岡市東区馬出３丁目１番１号）

6　受講対象者及び募集人員　地域の薬剤師及び一般市民・学生（薬系大学院生・学部生等）２００名

7　申込方法

(1) 氏名（ふりがな）、性別、年齢、職業・学校名、連絡先、薬剤師免許の有無、修了証書発行希望の有無等を記入した申込書（右記参照、複写のうえ使用可）を受講料振込控え（コピー可）と共に、「８　申込先」あて令和５年９月２２日（金）までに送付ください。（インターネットから振込みをされた場合は、振込みをされたことが確認できる画面のコピーを送付ください。）

(2) 振込先　銀行名「三井住友銀行　福岡支店」、普通預金、口座番号「７１１９２５２」

口座名義「国立大学法人　九州大学講習料」

＊手数料はご本人負担となります。

＊お手数ですが、振込人のお名前の前に「ヤクガクブ」と必ずお入れ願います。

（例）「ヤクガクブ　キュウダイ　タロウ」

(3) 申込者多数の場合は先着順といたします。

なお、お申し込み後にキャンセルされた場合や、当日ご欠席された場合は、いかなる理由でもお振込みいただいた受講料の返金はできませんので、ご了承願います。

8　申込先

九州大学 医系学部等総務課総務第一係　薬学公開講座担当
〒812-8582　福岡市東区馬出３丁目１番１号
TEL:　０９２－６４２－６２４８
FAX:　０９２－６４２－６２４６
E-mail:　ijssomu1@jimu.kyushu-u.ac.jp

9　受講料

６，５００円（学生は２，０００円）

10　修了証書

２回以上出席された方のうち、希望者には修了証書を授与します。

11　薬剤師の方へ

財団法人　日本薬剤師研修センターの集合研修会となります。

（１講義につき１単位が認定されます。）

受講単位を受けようとする薬剤師は、薬剤師研修・認定電子システムへの事前登録を行い、ユーザ ID を取得する必要がありますので、日本薬剤師研修センターのホームページより手続きを行ってください。また、登録に関するお問い合わせは日本薬剤師研修センターへ直接お願いします。

12　不測の事態の場合は、講演予定変更の場合がありますことを予めご了承ください。

不測の事態による予定変更についての緊急のご連絡のために、差し支えなければ申込書にメールアドレス・携帯電話番号等をご記入ください。

なお、悪天候時等の開講の確認等についてはWebページによる確認（https://www.phar.kyushu-u.ac.jp/outsider/ 、右の２次元バーコードも利用できます）、もしくは、０９２－６４２－６２４８へご連絡ください。

令和５年度九州大学大学院薬学研究院　公開講座申込書					
連絡先	〒　　－ （TEL　　－　　－　　） （E-mail　　）				
ふりがな 氏　名		性別	男・女	年齢	
職業・学校名		薬剤師免許の有無		有・無	
修了証書発行希望の有無（２回以上出席の場合）		有　・　無			

皆様からお寄せいただきました個人情報については、次の目的に使用させていただきます。

1　本公開講座に係る連絡

2　今後開催する公開講座の検討資料

講師及び講義題目等

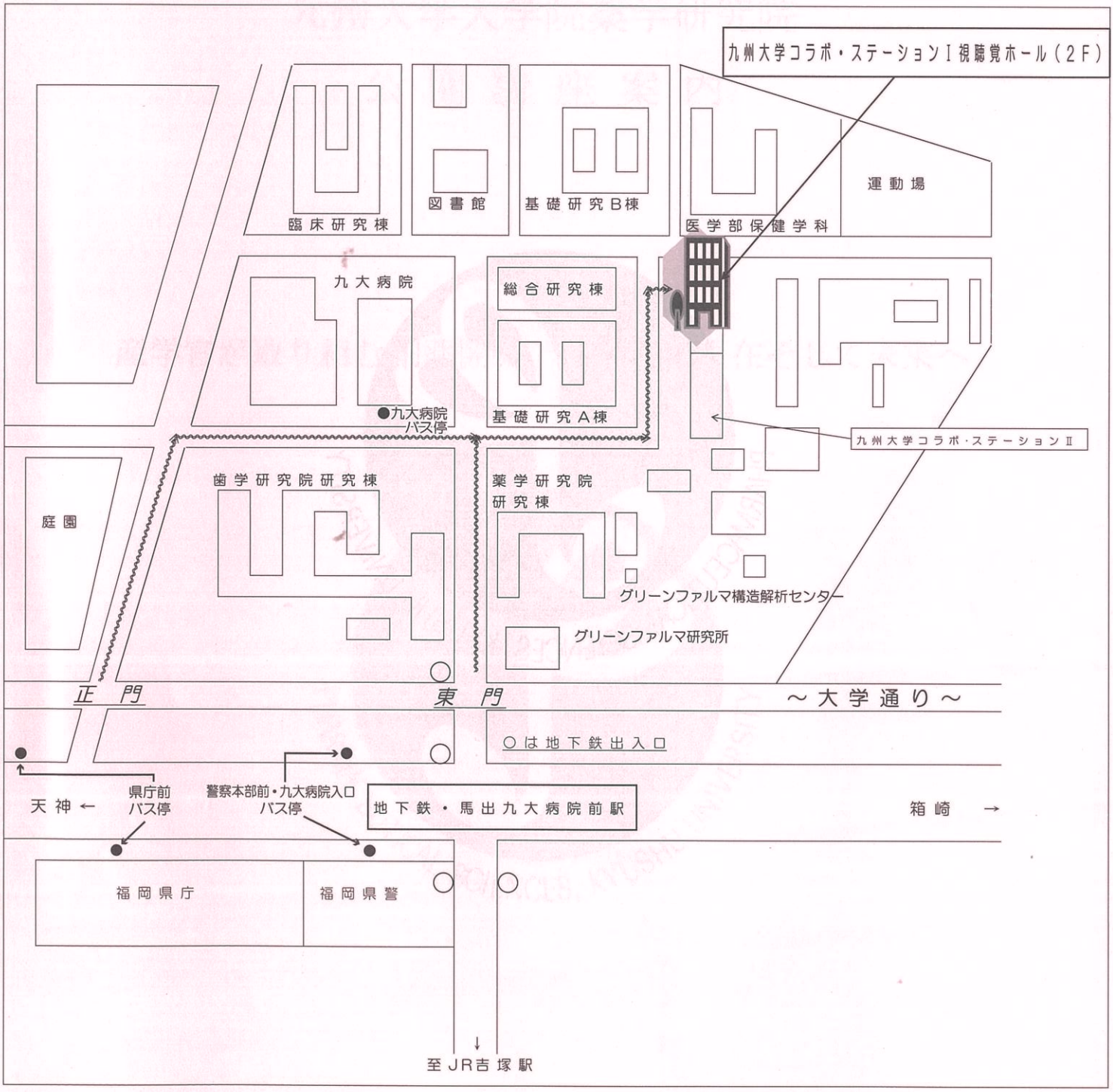
月　日	時　間	講義題目等	講　師	概　　要
10月22日(日)	12:30～	受　付		
	12:55～13:00	開講式		
	13:00～14:30	九大薬が取り組む「グリーンファルマ研究」とは？	九州大学 薬学研究院 創薬構造解析学分野 講師 山下 智大	大学の基礎研究から、日々新たな創薬標的分子が発見されていますが、新薬の開発には莫大な費用と10数年以上もの長い開発期間が必要です。九州大学では、自身で見つけた創薬標的分子などに対して効果を発揮する薬を、既承認薬の中から見つけ出す「エコファーマ」研究を推進しています。そして、これまで知られていなかった新たな薬効を基に、患者さんへの早期治療を目指しています。さらに、発見した薬の新たな薬効を向上させるため、「グリーンケミストリー」という合成技術を融合させることで、「グリーンファルマ」と称した新たな創薬も展開しています。本講演会では、グリーンファルマならびに大学での創薬研究の取り組みや成果について紹介します。
	14:30～14:40	質疑応答		
	14:40～15:00	休憩、受付		
	15:00～16:30	意外と知らない薬の話	九州大学 薬学研究院 グローバルファーマシー分野 講師 川西 英治	日常生活において、我々は様々な場面で薬と接している。では薬とはどのようなものなのか？このような疑問に対して以下のような視点で解説します。 【薬の歴史】「因幡の白兎と蒲の花粉」「神農像」「華岡青洲と通仙散」など、日本ではどのような歴史があるのか？ 【製薬会社の創業】代表的な製薬企業の意外に古い創業年を紹介 【新薬、誕生】基礎研究～非臨床試験～臨床試験～承認～販売、どれだけの時間を費やして薬が誕生するのか、その成功確率は？ 【薬の種類と医療費・薬剤費】先発医薬品とジェネリックの違いは？医療経済との関係は？ 【治療満足度と薬の貢献度】降圧剤、糖尿病治療薬、抗がん剤など、近年どれだけ貢献度は増している？ 【新型コロナ感染症】本学での取り組みの一部を紹介
	16:30～16:40	質疑応答		

講師及び講義題目等

月　日	時　間	講義題目等	講　師	概　　要
10月29日(日)	12:30～	受　付		
	13:00～14:30	クリスパー：発見から実用的ゲノム編集技術開発まで	九州大学 名誉教授 石野 良純	ポストゲノム時代といわれる現在、ゲノム情報を利用して新薬を開発する「ゲノム創薬」が注目されています。「ゲノム編集」はゲノムDNA上の特定の遺伝子に対して、人工的な欠失、置換、削除、挿入により遺伝子改変するものであり、病原遺伝子の変異を修復する遺伝子治療ばかりでなく、創薬のターゲットとなりうる未知遺伝子の機能解明にとっても極めて有用です。演者が発見し1987年に発表したCRISPRが25年後にゲノム編集に応用されて、実用的ゲノム編集技術が誕生しました。本講演ではCRISPRがゲノム編集に利用されるようになった歴史を紹介し、この技術の現状と発展について概説します。
	14:30～14:40	質疑応答		
	14:40～15:00	休憩、受付		
	15:00～16:30	新型コロナウイルス研究におけるクライオ電子顕微鏡の活用	北海道大学 薬学研究院 生体分子機能学研究室・創薬科学研究教育センター 教授 九州大学 薬学研究院 グローバルファーマシー分野 教授 前仲 勝実	世界的パンデミックCOVID-19を引き起こした新型コロナウイルスSARS-CoV-2に対して、治療薬やワクチンの迅速な開発が必要となりました。これを踏まえて、将来のパンデミックに備えた準備が求められています。COVID-19治療薬やワクチンの設計に大きな役割を果たしたのがクライオ電子顕微鏡です。我々はこのクライオ電子顕微鏡を用いて、中和抗体がウイルス表面のスパイクタンパク質に結合する様子を観察し、治療薬候補の可否を判断しています。さらに、ウイルス全体を観察することで、感染メカニズムの理解とともに、それに基づくワクチン設計を進めています。今回の講座では、新型コロナウイルス研究に活用されているクライオ電子顕微鏡解析を紹介し、さらに今後の展望について考えます。
	16:30～16:40	質疑応答		
	16:40～16:45	閉講式		

会場案内図

九州大学コラボ・ステーションⅠ（九州大学病院地区内）
〒812-8582　福岡市東区馬出３丁目１番１号



※　できるだけ公共交通機関でお越しください。やむを得ず自家用車で来られた場合は、敷地内に有料駐車場がございます。（お車の場合は正門からお入りください。）